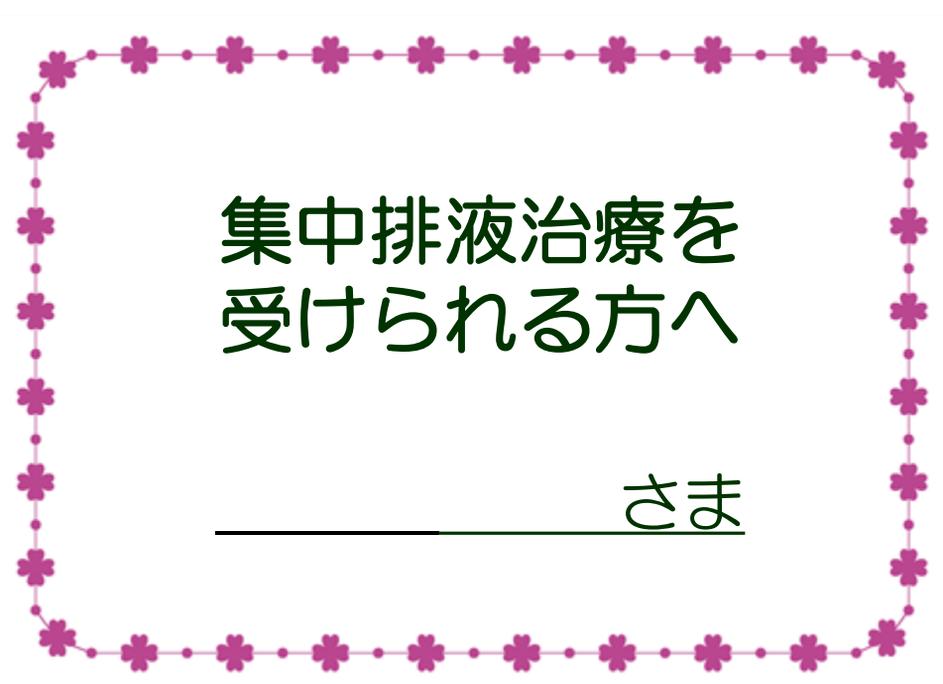


患者さんパンフレット

四国がんセンター
形成外科
リンパ浮腫外来





集中排液治療を
受けられる方へ

_____さま

主治医

受持ち看護師

2019年7月2日 作成
2021年9月24日 改定

私たち医療スタッフは

- I、治療に対する不安を軽減し、最良の状態で
治療が受けられるようお手伝いします

- II、治療による苦痛を軽減し、合併症を起こさず
セルフケアを身につけていただき、安心して
退院を迎えられるようお手伝いします



入院までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用しているお薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- お薬手帳をお持ちの方は、入院前に必ずお持ちください
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
- バスタオル
- タオル
- ティッシュペーパー 1箱

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- 保湿クリームまたはローション
- 包帯を巻いても活動ができる衣服
- 包帯（バンテージ）現在使用している弾性着衣
*入院時にくろ～ば～で購入（または持参）してください
- 現在使用している弾性着衣（スリーブ・グローブ等）

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



医療品ショップ くろ～ば～

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30～17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、日々の目標として**患者さんご自身の目標**をかかげ、さらによりよい状態で退院を迎えられるよう**医療スタッフの目標**もあげています

入院は約2週間の予定です

症状の回復には個人差があり、体の状態によっては予定どおりに進まないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます

リンパ浮腫の治療は「スキンケア」「用手的リンパドレナージ」「圧迫療法」「圧迫下での運動療法」が基本となります

この4つの方法と患肢の挙上、日常生活の注意を組み合わせ「複合的理学療法を中心とする保存的治療」で治療とケアを行います



入院日 月 日

今日目標

- 入院生活、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none">• 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）• 検温、血圧測定、身体測定、患肢測定• 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り• 禁煙の確認
12:00	昼食 シャワー浴 弾性包帯装着	
		<お薬> <ul style="list-style-type: none">• 他の病院で処方されたお薬については、一度お預かりし、医師の指示を確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
18:00	夕食	<食事> <ul style="list-style-type: none">• 特に制限はありません• 基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります• 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
21:30	消灯	

活動に制限はありません
ベッドで休む時は、浮腫のある腕や脚をなるべく高くして休みましょう

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 入院生活や治療に対する不安がないよう支援します
- 安心して入院生活を送られるよう支援します
- 治療の準備をすすめられるよう支援します



今日の目標

- セラピストと一緒に弾性包帯を正しく装着できる
- 転倒しない
- 皮膚に赤みや熱感がない（感染の症状がない）

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
	リハビリ室でセラピストが弾性包帯を装着し、運動をおこないます
10:00	検温
12:00	昼食
	シャワー浴 病室でセラピストと一緒に弾性包帯を装着し、方法を習得していきましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

活動に制限はありません
ベッドで休む時は、浮腫のある腕や脚をなるべく高くして休みましょう

シャワー浴の時間については、セラピスト・看護師と調整して決めましょう（予約しましょう）



弾性包帯を巻いているところが痛いときは、看護師にお知らせください

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 弾性包帯の圧迫がセラピストと一緒にできるよう支援します



月 日 ~ 月 日

日付	メモ (皮膚の状態や体調など気づいたことを自由にお書きください)
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

夜間、気分が悪い、腕や脚が痛い、きつい、しんどいなどの症状があれば**一番上の包帯を1本**はずしてください
それでも症状が治まらず、包帯を巻いていることが苦痛、眠れないなどの症状があれば、**全て**はずしてください

今日の目標

- ひとりで弾性包帯を正しく装着できる
- 転倒しない
- 皮膚に赤みや熱感がない（感染の症状がない）
- 退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

★退院前日 退院後の日常生活について説明します

6:00

起床

7:30

朝食

活動に制限はありません
ベッドで休む時は、浮腫のある腕や脚をなるべく高くして休みましょう

9:00

回診

リハビリ室でセラピストが弾性包帯を装着し、運動をおこないます

10:00

検温

シャワー浴の時間については、
セラピスト・看護師と調整して決めましょう
(予約しましょう)

12:00

昼食

シャワー浴
自分でリンパドレナージュを行います
病室でセラピストと一緒に弾性包帯を装着し、
方法を習得していきましょう



18:00

夕食

弾性包帯を巻いているところが
痛いときは、看護師にお知らせください

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 合併症の早期発見に努めます
- 弾性包帯の圧迫がセラピストと一緒にできる
よう支援します
- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



月 日 ~ 月 日

日付	メモ (皮膚の状態や体調など気づいたことを自由にお書きください)
/	
/	
/	
/	
/	
/	
/	

夜間、気分が悪い、腕や脚が痛い、きつい、しんどいなどの症状があれば**一番上の包帯を1本**はずしてください
それでも症状が治まらず、包帯を巻いていることが苦痛、眠れないなどの症状があれば、**全て**はずしてください

退院日 月 日

今日の目標

- 退院後の日常生活について理解できる
- 退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温

7:30

朝食

退院時入院料金連絡票をお部屋までお持ちします
2階窓口でお支払い終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
次回外来予約票をお渡しします

お預かりしているお薬、退院のお薬がある場合はお渡しします

10:00

退院
退院前にお忘れ物がないようご確認ください

次回リンパ浮腫外来予約日は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります
(状況に応じて検査があります)

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

●食事

栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありません
標準体重を心がけましょう



●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
運動や趣味の活動を行ううえで迷うようなことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません
浮腫のある部位は、優しく泡立てて石鹸でお洗ってください
「がん治療とリンパ浮腫」冊子参照



●その他

スキンケアについては「がん治療とリンパ浮腫」の冊子をお読みください
リンパ浮腫外来での定期的な診察を継続します



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
私たちと一緒に考えていきましょう



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

退院後も今までどおり浮腫のケアを継続しましょう



ほうかしきえん

● **蜂窩織炎の症状**

- むくんでいる腕全体が赤く熱感を持ち、虫さされのような赤い斑点がみられる
- 悪寒を伴うような体温38.0度以上の高熱

このような症状がみられる時は、
弾性包帯・弾性着衣・マッサージは中止してください

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆ 四国がんセンターの連絡先 ◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



集中排液治療を受けられる方へ